



夢を拓く



校訓「咲き誇る」
伊豆の国市立大仁中学校
学校だより No.10
令和6年 2月22日 (木)

校風

2月6日に、6年生児童と保護者を対象にした「入学説明会」が開催されました。その席で校長は、学校の教育方針について説明をします。校訓「咲き誇る」のことを説明するために、事前に原稿を書き、ふと、意外なことに気づきました。

校訓とは、どんなに時代が変化をしても一貫して掲げ続けるもの、いわば「不易」。大仁中学校が今後もずっと大切にしていける合い言葉です。この校訓が制定された経緯に「意外」を発見したのです。一般的に、校訓は、学校創設時や草創期に、地域の方々や教育に携わる関係者が知恵を絞り、崇高な願いを込めて作られるものと理解しています。しかし、本校の校訓は、今から20年前、平成16年に、大仁中学校に校訓がほしい、という生徒の願いに端を発し、生徒会が動き制定されたという、異色の経緯を背景にしています。昭和22年の開校から60年近くが経過していました。

一例を紹介します。かしわ祭文化の部では、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で合唱コンクールは実施されませんでした。代案としてクラス対抗のボディパーカッションが実施され、生徒たちは熱心に取り組みました。さて、令和5年度の文化の部の計画を立てる段階で、コロナ感染症の扱いが軽減されたため、教員は当然のことながら、従来の合唱コンクールに戻す方向で検討を始めました。ここが大人の感性の鈍さかもしれません。生徒会で「合唱」か「ボディパ」か、生徒の意見を集約したところ、「ボディパーカッション」が僅差で優位という結果となり、文化の部ではボディパーカッションを披露することになりました。

学校としては、教員が決めたまま「合唱コンクール」を実施することがあっても問題はありません。しかし、検討の段階で「生徒はどう思っているだろう」という素朴な疑問に立ち返り、生徒の決定に従って文化の部が行われたことは、大仁中学校の校風と言えるのではないかと思います。ブレザータイプの制服導入に先立って令和3年に「制服検討委員会」が発足したのですが、保護者代表、学校評議員、教員代表とともに生徒の代表者も委員として加わり堂々と意見を述べていることが記録に残っています。

今後は、細かなことですが、靴下や靴などについても、生徒の意見を参考にしながらルールを変更していこうと考えています。そもそも日常的に、「生徒はどう思っているだろう」という視点に授業者がこだわって授業実践をしていくことが、生徒主体の校風をより高いレベルに引き上げることに繋がるとは思いません。(文責：校長)



★思春期講座が行われました（2年）

思春期の心とからだの発達について学ぶ機会の一つとして、毎年「思春期講座」を行っています。今年度は、助産師である御宿（みしゆく）様を講師に招き、2年生を対象にご講話をいただきました。ドラマ「コウノドリ」を取り上げながら、かけがえない命の誕生、自他を大切にする心や態度について、熱く語っていただきました。とても有意義な学びの時間を過ごすことができました。



★学期末です！進路も見据えて「学習へのしかた」をレベルアップ！

先日、3年生の私立入試の合格発表がありました。まずは目標を一つ達成し、本人はもちろん保護者の皆様もひとまずほっと一息つけたのではないのでしょうか。学校では、来月の公立入試に向けて、もうひとがんばりしていけるよう支援をしていきたいと思えます。

2年生においても、進路学習をスタートさせています。高校調べや高校の先生を招いての説明会等も実施しています。一歩先を行く先輩の姿や進路に関わる大まかなスケジュールについて、1～2年生は常にアンテナを高くしておきたいものです。

さて、中学校では、小学校のときのような宿題の出し方はしていません。教科ごとに、「(いつ)までに、(何)を(どこ)までやっておく」という形で、ワーク等の課題を与えています。自分でペース配分を考え、こつこつ進めている生徒がいる一方で、提出期限直前になって、膨大な範囲を一気にやろうとする生徒、中には、答えを丸写しにしている生徒や間違っているにもかかわらずそのまま〇を付けて提出している生徒も少なからずいるのが現状です。

それぞれに得意不得意はあると思いますが、自分の苦手なところを一つ一つクリアしていけるようなていねいな学習のしかたにレベルアップを図りたいものです。受験を迎える前に、自分に合ったやり方を身に付けておくことはたいへん重要です。保護者の皆様にも、ぜひお子様の努力の過程を認める前向きな声かけと見届けにご協力ください。



★大中学生の活躍が広がっています★



★税についての作文コンクール

佳作 西島（3年）

★静岡県書き初めコンクール

優秀賞 森野（1年）

優秀賞 磯（1年特支）

★田方地区冬季リーグ 第3位 男子バスケットボール部

★おおひと梅まつり（ボランティア参加）

土屋、佐野、西川、鈴木、千田（1年）

金井、秋元、鈴木、鳩川、原、松村、稲田、小坂、遠藤（2年）

★歌フェスタ2024（道の駅「伊豆月ヶ瀬」にてステージ出演）

吹奏楽部